

令和5年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

普及	脂肪交雑の産肉能力に優れる黒毛和種県有基幹種雄牛「美津貴（みつぎ）」号
【要約】新規基幹種雄牛「美津貴」号は脂肪交雑において本県の産肉能力検定（現場後代検定法）で歴代最高の成績を収め、脂肪交雑の産肉能力育種価においても上位 1/10 以上と優れている。	

1 背景とねらい

黒毛和種の産肉能力向上を図るため、計画交配、産肉能力検定等により優れた能力を備えた種雄牛を生産確保し、その効率的利用を促進することで黒毛和種の集団的な育種改良を推進する。

2 内容

(1) 「美津貴」号の概要（表 1、図 1）

父は「美津照重」。母の父は「百合茂」、母の母の父は「安平」。審査得点は 83.4 点。

(2) 現場後代検定成績及び産肉能力推定育種価（表 2）

去勢で枝肉重量 506.1 kg、ロース芯面積 65.9 cm²、バラの厚さ 8.5 cm、皮下脂肪の厚さ 2.6 cm、歩留基準値 75.0、脂肪交雑（BMSNo.）9.1、雌で枝肉重量 453.8 kg、ロース芯面積 69.9 cm²、バラの厚さ 8.2 cm、歩留基準値 75.0、脂肪交雑 9.4 と優れ、特に脂肪交雑は去勢、雌ともに本県歴代最高の成績であり、産肉能力推定育種価においても、脂肪交雑が上位 1/10 以上（H 評価）と優れている。

3 活用方法等

(1) 適用地帯又は対象者等 県内全域 黒毛和種飼養農家

(2) 期待する活用効果 黒毛和種の改良推進
凍結精液供給本数：2,000 本/年（令和 8 年）

4 留意事項

(1) 県内で供用中の黒毛和種雌牛 34,689 頭との交配産子近交係数が 10.0%を超える割合は 26.7%であり（図 2）、近交係数の上昇は産肉能力等に負の影響を与えることが報告されていることから、交配にあたっては留意すること。

(2) （公社）全国和牛登録協会が規定する遺伝的不良 10 形質を保因していない。

5 その他

(1) 関連する試験研究課題

(235) 黒毛和種産肉能力検定（間接法・現場後代検定法）[H1～R5/県単]

(2) 参考資料及び文献等

（公社）全国和牛登録協会「和牛登録事務必携（令和 3 年度版）」令和 4 年 3 月

6 試験成績の概要（具体的なデータ）

表 1 「美津貴」号の概要

登録記号番号	黒原 6313
血統	美津照重-百合茂-安平
審査得点	83.4
生年月日	平成 30 年 6 月 5 日
産地	奥州市江刺
体型	美点 発育、体伸、肋腹
	欠点 肩付、尻形、腿



図 1 「美津貴」号の側貌

表 2 現場後代検定成績及び推定育種価（令和 5 年 9 月評価）

項目	現場後代検定成績		推定育種価（後代数：19 頭）			
	去勢（7 頭）	雌（10 頭）	育種価	正確度	σ 値	HABC 評価 ^{※3}
枝肉重量(kg)	506.1	453.8	51.6	(0.90)	-0.04	C
コース芯面積(cm ²)	65.9^{※1}	69.9	19.0	(0.90)	0.62	B
バラの厚さ(cm)	8.5	8.2	1.2	(0.87)	0.63	B
皮下脂肪の厚さ(cm)	2.6	3.7	0.2	(0.90)	-1.71	C
歩留基準値(%)	75.0	75.0	2.5	(0.90)	0.10	B
脂肪交雑(BMSNo.)	9.1	9.4	—	—	—	—
脂肪交雑基準値	—	—	3.7^{※4}	(0.91)	1.81	H
肉質等級(頭)	A-5:6、A-4:1	A-5:8、A-4:1、B-5:1	—	—	—	—
A 5 率(%)	85.7	80.0	—	—	—	—
4・5 等級率(%)	100.0	100.0	—	—	—	—

※1 岩手県関連牛出荷平均^{※2}以上のもの（皮下脂肪の厚さは平均以下のもの）は**ゴシック体太字**

※2 平成 29 年 3 月～令和 4 年 3 月に県内で子牛登記あるいは肥育され、と畜されたものから、四分位範囲を用いて算出した外れ値を除外したもの

※3 「H」:1.28 σ 以上(上位 1/10)、「A」:0.67 σ 以上(上位 1/4)、「B」:0 σ 以上(平均以上)、「C」:平均未満

※4 「H」評価の項目は**ゴシック体太字**

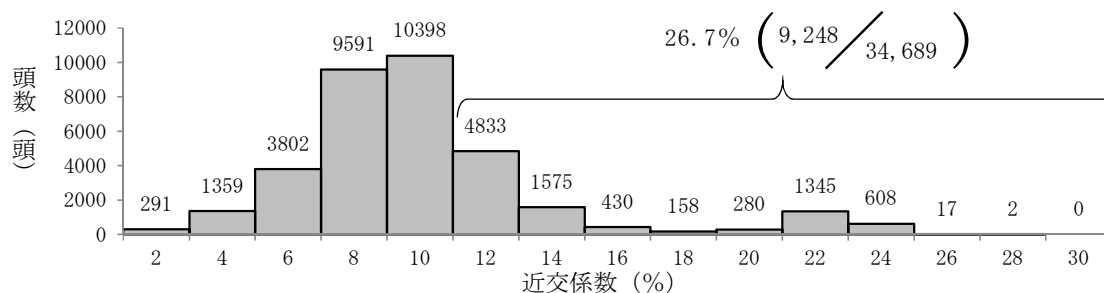


図 2 県内黒毛和種雌牛に「美津貴」号を交配した場合の産子の近交係数分布

※令和 5 年 8 月 1 日時点で供用中の繁殖雌牛

【担当】 畜産研究所 種山畜産研究室